平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	サービスラーニングⅢ(Service-learning Ⅲ)【こども・福祉マネジメント】	授業コード	E047401
担当教員名	鍋田　耕作、高橋　淳一郎、河村　裕次、坂口　昌宏、栗延　孟	科目ナンバリングコード	E31418
配当学年	3年	開講期	通年
必修・選択区分	選択	単位数	4単位
履修上の注意または履修条件	原則として、フィールドスタディＩA・フィールドスタディＩB、サービスラーニングⅡとの合同演習のため、該当年次のみ受講可能となります。 ・フィールドワークを行う場合は、特に基本的な社会人としてのマナー・常識・態度などが重要になりますので、この点についても指導します。 ※こども・福祉マネジメントコースのCOC事業等を活用して実施します。		
受講心得	・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席を心がけてください。 ・グループワーク時は、ディスカッションや作業等に積極的に取り組むことを心がけてください。 ※必要に応じて、正課時間外に地域に出る場合があります。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	授業中に指定します。		
関連科目	家族援助論、コミュニティワーク演習、フィールドスタディＩA・ＩB、サービスラーニングⅡ		

授業の目的	こども・福祉マネジメントコースでは、経済や経営の知識をベースに、「子ども」「高齢者」「障がい者」など福祉に関する幅広い視点から専門知識やスキルを習得するためには、地域社会が抱える多種多様な課題を知り、体験交流活動で実感し、その課題解決に向けた必要な知識の修得、そして実際にステークホルダーとの協働による課題解決型学修を実施しています。具体的には、地域課題を抱える当事者・専門職と関わりながら、様々な福祉・保育分野の問題点を理解し、その解決に向けての取組を当事者・専門職とともに行うことで、専門的な見地から思考力・実践力などを身につけてもらいます。この授業は、地域の当事者や専門職との関わりの中で、地域社会における市民的責任や社会的役割を感じてもらうことも目的の1つです。
授業の概要	こども・福祉マネジメントコースの教育プログラム等を通して、これまで講義等で学ばれた学問的な知識・技能を、地域社会の諸課題(地域の抱えている問題点や対象者の抱えている課題など)を解決するためにチームとして社会的活動を行っていきます。 そのために、本科目は、地域課題の解決方法について学修するため、地域課題の分析、企画、準備、実行、振り返りの実践を行う実行型授業になります。 ※活動によって、課題分析、企画、準備、実行、振り返りの配当時間数が変わることがあります。 ※第2週～第16週を1サイクルとして、3回以上実施した場合に単位認定を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : オリエンテーション こども・福祉マネジメントコースCOC事業等の説明	配布プリントを読み、重要箇所をまとめる。(1h)
第 2 週 : チーム編成 企画に当たっての活動目的等の事前説明	配布資料の理解(企画の趣旨を理解するため、活動目的等をまとめる。)(1h)
第 3 週 : 地域課題分析① 活動の目的等を理解し、その目的が達成できるよう、課題の洗い出しを行う。	(予習)説明資料から課題抽出(1h) (復習)活動の課題整理(1h)

第 4 週 ： 地域課題分析② 分析①で出た課題に対して、今、必要なもの、自分たちが出来ることを検討する。	（予習）解決方法の検討（1h） （復習）解決方法の整理（1h）
第 5 週 ： 企画立案① 再度、事業目的・対象者・内容等を確認し、企画内容の素案を考える。（地域課題解決に向けた企画目的の設定等）	（予習）事業目的・対象者・内容等の確認（1h） （復習）企画内容の理解（1h）
第 6 週 ： 企画立案② チームごとに事業企画の内容を考え、企画の全体的な流れを話し合う。（企画内容の決定）	（予習）企画に合わせたスケジュールなどを検討（1h） （復習）グループでの決定事項の確認（1h）
第 7 週 ： 準備① 企画書の作成、当日までのスケジュール作成（準備等）、役割分担、当日の流れ、チラシ作成等の役割を、チームごとに設定し、準備する。	（予習）グループでの決定事項の確認（1h） （復習）企画実施に向けての準備物等の作成（1h）
第 8 週 ： 準備② 企画書の作成、当日までのスケジュール作成（準備等）、役割分担、当日の流れ、チラシ作成等の役割を、チームごとに設定し、準備する。	（予習）企画実施に向けての準備物等の作成（1h） （復習）企画実施に向けての準備物等の作成（1h）
第 9 週 ： 事前準備（ロールプレイ等） 当日のスケジュールに合わせて運営側・参加者側に分かれ、内容・流れの確認等を行う。	（予習）企画実施に向けての準備物等の作成（1h） （復習）企画実施に向けてのスケジュール等の確認（1h）
第10週： 事前準備（最終打ち合わせ等） ロールプレイでの変更点等をまとめるとともに、当日のスケジュール・役割等の確認を行う。	（予習）企画実施に向けてのスケジュール等の確認（1h）
第11週： 運営・実行① チームで考案した企画を運営・実施する。	（予習）運営・実施に当たってのリハーサル等を行う。（1h） （復習）運営・実施の反省点等をまとめる。（1h）
第12週： 運営・実行② チームで考案した企画を運営・実施する。	
第13週： 運営・実行③ チームで考案した企画を運営・実施する。	
第14週： 運営・実行④ チームで考案した企画を運営・実施する。	
第15週： 振り返り①	（予習）運営・実施の反省点等をまとめる。（1h） （復習）運営・実施に関する改善点等を検討する。（1h）

この企画運営を振り返り、個人としての達成点、改善点をまとめる。	
第16週： 振り返り② この企画運営を振り返り、チームとしての達成点、改善点をまとめる。	（予習）運営・実施に関する改善点等を検討する。（1h）

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考	多学年協働での実践活動になる。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループ活動に積極的に参加することができる。
【知識・理解】	地域での課題解決に向けた必要な知識の修得し、当事者のニーズや地域の実情に合わせた企画立案等を通して、その地域課題の解決に向けた知識・技術を身につけることができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	進行役・説明役として参加者に企画の趣旨・内容を伝えることができる（発信力）、また情況に合わせて臨機応変に対応することができる（情況把握力）を身に着ける（事業運営時）。
【思考・判断・創造】	地域における問題点を把握（課題発見力）し、その解決に向けた取組を企画（計画力）を考え、当日をイメージしながら内容の修正等（創造力）することができる（事業企画時）。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**20点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**20点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**30点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**30点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	リアクションペーパー等の提出物をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

発表・その他 （無形成果）	講義・グループ活動・COC事業等への参加をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。